

第１６３回新生ふくしま復興推進本部会議
第５８回福島イノベーション・コースト構想推進本部会議
合同会議 議事録

- 日時：令和８年９月７日（月）１１：００～１１：１０
- 場所：危機管理センター災害対策本部会議室（北庁舎２階）

【鈴木副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議、福島イノベーション・コースト構想推進本部会議の合同会議を開催いたします。

議題の１つ目、「国の令和９年度予算概算要求」、２つ目「国の令和９年度予算概算要求（福島イノベーション・コースト構想関連）」について、企画調整部長。

【企画調整部長】

資料１を御覧ください。左側は、７月に開催された福島復興再生協議会において、知事から各大臣に直接要望いただいた項目を記載しております。右側は、各府省庁から公表された概算要求の主な状況を対応させております。

令和９年度においても、避難地域の復興・再生や避難者等の生活再建、風評払拭・風化防止対策の強化、地域産業の再生及び新産業の創出、インフラ等の環境整備等について、必要な予算が計上されております。

次に「福島イノベーション・コースト構想関連予算」について、資料２を御覧ください。「研究開発等の推進・産業集積の促進」に関する事業など、福島イノベーション・コースト構想の推進に必要な予算が盛り込まれているほか、福島ロボットテストフィールドの機能強化をはじめ、F-REI（福島国際研究教育機構）に係る予算が計上されております。

以上のとおり、令和９年度概算要求については、おおむね本県の要望が反映されております。

今後、財政当局との折衝に向け、各府省庁を後押しできるよう、各部局が根拠となるデータ等を用いて丁寧に説明し、本県の要望が年末の政府予算案に確実に反映されるよう、引き続き、国との協議・調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

今の説明に関して、危機管理部。

【危機管理部政策監】

危機管理部関連では、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉対策に係る予算のほか、ALPS処理水の海洋放出をはじめ原発事故の影響を把握するための環境モニタリングに係る予算が計上されております。

引き続き、これらの予算が確実に確保されるよう、関係省庁と調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

風評・風化戦略担当理事。

【企画調整部長】

風評・風化対策につきましては、根強く残る風評の払拭、ALPS処理水に対する理解醸成、輸入規制撤廃等に対処するため、科学的根拠に基づく正確かつ効果的な情報発信に関する予算が計上されております。

また、県内の自治体が自らの創意工夫により、食品の安全性等の情報と地域の魅力に関する情報を併せて発信する、風評払拭・風化防止に向けた取組のための予算が計上されております。

【鈴木副知事】

避難地域復興局。

【避難地域復興局長】

避難地域復興局関係では、帰還加速のための環境整備、新たな活力を呼び込む取組のほか、特定帰還居住区域の除染・家屋解体、避難者への支援など、避難地域の復興・再生及び避難者等の生活再建の実現に必要な予算が計上されております。

引き続き、中長期にわたる継続的な取組に加え、復興の進捗により生じる新たな課題に対応するための必要な予算・制度が措置されるよう、関係省庁との調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

生活環境部。

【生活環境部長】

生活環境部関連では、中間貯蔵施設の運営や除去土壌等の県外最終処分に向

けた理解醸成など、環境回復の取組のほか、避難地域における公共交通の維持・確保や野生鳥獣対策などの予算が計上されました。

また、復興関係以外では、クマ被害対策ロードマップに基づく人の生活圏への出没防止等の予算が計上されております。

今後とも、これらの予算が確実に確保されるよう、関係省庁との調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

保健福祉部。

【保健福祉部長】

保健福祉部関連では、双葉地域における中核的病院の整備をはじめとした避難地域等の医療提供体制の再構築にかかる予算のほか、県民の健康回復、被災者の心のケアを含めた高齢者等の生活を総合的にサポートするための予算が計上されました。

引き続き、これらの予算が確実に確保されるよう、関係省庁と調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

商工労働部。

【商工労働部長】

商工労働部関連では、産業復興と雇用創出に向けた企業立地への支援、新技術や製品の実用化開発の支援、被災事業者の事業再開支援や創業支援など、事業・なりわいの再建や新産業の育成・創出に向けた予算が計上されております。

引き続き国に対して、これらの予算の必要性を説明し、確実に確保されるよう、必要な調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

観光交流局。

【観光交流局長】

観光交流局関連では、ホープツーリズムや教育旅行、インバウンドの推進など、震災復興に係る観光関連施策を実施し、早期の観光復興につなげるための

予算のほか、ナショナルサイクルルート（NCR）に指定された浜サイを活用した誘客や地域課題解決を通じた浜通り地域等以外からの来訪者の呼び込みを通じて、交流人口・関係人口拡大を図るための予算が計上されております。

引き続き、これらの予算が確実に確保されるよう、関係省庁と調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

農林水産部。

【農林水産部長】

農林水産部関係では、既存の事業を統合し、営農再開の加速化と広域的な産地形成を推進するため、生産基盤の整備、営農再開、産地競争力の強化等のハード・ソフト両面から取組を支援する福島県農業復興創生総合交付金や、森林・林業の再生を総合的に推進する福島県森林・林業復興創生総合交付金などの予算が計上されました。

今後とも、必要な予算が確実に確保されるよう、関係省庁と調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

土木部。

【土木部長】

土木部関連では、社会資本整備総合交付金の復興枠について、本県の要望を踏まえた必要な予算が計上されております。

また、復興関係以外では、第1次国土強靱化実施中期計画に基づく取組の推進に必要な経費について、事項要求として盛り込まれており、引き続き関係省庁と連携しながら予算確保に取り組んでまいります。

【鈴木副知事】

教育庁。

【教育長】

教育庁関連では、教職員の加配やスクールカウンセラーの配置、イノベ構想を担う人材育成など、「福島ならではの」教育を推進するために必要な予算が計上されております。

また、高校教育改革（N-E. X. T. （ネクスト）ハイスクール構想）の推進に必要な経費が事項要求として計上されております。

本県教育の更なる充実・発展のため、これらの予算が確実に確保されるよう、引き続き、関係省庁と調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

ほかにありますか。

なければ、知事からお願いいたします。

【知事】

これまで、国に対し、あらゆる機会を捉えて令和9年度の予算確保を強く訴えてきました。

その結果、各部局長から発言があったとおり、国の概算要求では、避難地域等の復興・再生や避難者等の生活再建、風評払拭・風化防止対策、福島イノベーション・コースト構想の推進に関する事業など、必要な復興事業を着実に実施していくための予算として、今年度を大幅に上回る額が計上されたところであり、関係府省庁には、おおむね福島県の要望を踏まえた対応をしていただきました。

本県の復興・地方創生を切れ目なく、安心を持って進めるためには、年末の政府予算案に十分な予算や制度が確実に盛り込まれることが必要であり、これからの取組が重要です。

部局長の皆さんにおいては、各府省庁の方々に、福島の復興を「自分事」として理解していただけるよう、引き続き、熱意を持って現状や課題、事業の必要性等を説明し、粘り強く協議・調整を進めてください。

【鈴木副知事】

以上で、会議を終了します。